

北見工業大学 社会環境工学科 学習・教育到達目標

本学科は、厳しい自然と人口減少時代に対応した地域社会の基盤整備と保全に関する教育と研究を通じ、地域に根ざしながら世界的な視野を涵養する技術者教育と、地域特性を考慮しながら先進技術を応用する研究により開発された技術をもって、自立した光り輝く地域を築くために貢献します。

本学科は、恵みと厳しさを併せ持つ自然環境に囲まれた本学の特徴を生かし、低密度地域や寒冷地における社会基盤施設の整備と再構築、自然環境システムの解明と保全という分野において専門教育を実施し、「豊穡な地方」の形成を担いうる高度な技術と豊かな人間性を備えた人材を輩出します。本学科は、知識偏重の学力だけではなく、人間的な基礎力の強化と知的好奇心をもった人間的活力の向上を目指すとともに、実践力や問題解決能力、コミュニケーション能力を有し、継続的な努力を重ね、問題に対して粘り強く取り組む技術者を養成します。

このような人材を輩出するため、具体的な学習・教育到達目標を以下に掲げます。

- (A) 人と地球に優しい環境観を育み、自然と技術の調和を意識し、多面的に物事を考えて行動する能力(多面的思考力)
- (B) 技術が将来にわたって社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者として社会への貢献と責任について考えて行動する能力(技術者倫理)
- (C) 数学、物理学、情報技術等の基礎科目を理解し、社会環境工学の課題へ応用するための基礎的能力(基礎知識)
- (D) 社会環境工学関連分野の技術者として必要となる共通的な専門知識を習得し、それを応用する能力(専門知識)
- (E) 将来にわたって豊かな社会環境を創造するために、種々の基礎・専門知識を利用して、広い視点から問題を発見・解決する能力(問題解決能力)
- (F) 情報や意見を論理的に記述し、口頭発表や他者と議論する能力、更には外国語を用いて情報や意見をやり取りする能力(コミュニケーション能力)
- (G) 自己学習を習慣とし、常に技術者として能力向上に努める能力(自己学習の習慣)
- (H) 専門知識を利用し、限られた条件の下で計画的に仕事を遂行し、その結果をまとめる実践的能力(実践力)
- (I) チームとして仕事をするために、自らがすべきことと構成員に働きかけることをチームの目的と役割の中で理解し、行動する能力(チームワーク)
- (J) 北方圏など寒冷地における社会基盤整備や環境保全に必要な寒冷地工学に関する知識を習得し、それを応用する能力(寒冷地工学)